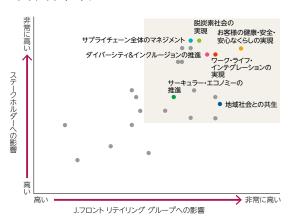
JFRのマテリアリティ

JFRグループは、サステナビリティ方針に「持続可能な社会とくらしのあたらしい幸せの実現に向けて、"人びとと共に、地域と共に、環境と共に"」を定め、グループ全体でサステナビリティ経営を推進しています。

2021年度からスタートした中期経営計画では、サステナビリティ経営の推進、「Well-Being Life(心身ともに豊かなくらし)」の実現に向け、7つのマリアリティを特定し、それぞれのマテリアリティにおいて、リスクと機会の両面を捉えビジネスチャンスを創出することで、社会的価値と経済的価値を両立するCSV(共通価値の創造)の実現を目指しています。

マテリアリティマップ





マテリアリティの特定プロセス

ステークホルダーへのアンケート(4,250名)、経営者インタビューを実施

環境・社会課題認識 テリアリティ候補リストアップ

ステークホルダー視点での 重要課題ヒアリング 自社の強み・インパクトについての評自社にとっての重要課題の抽出

論議·特定

経営会議・取締役会で論議

環境や社会に著しく影響があると 思われる社会課題100項目を選択 自社の取り組みやESGガイドライン、ベンチマーク企業を参考に25項目を選択 (組織統治・人権・労働慣行・環境・公正な事業慣行・コミュニティなど)

2018 マテリアリティ5項目を選定

- ■「低炭素社会への貢献」
- ●「サプライチェーン全体のマネジメント」
- ●「地域社会との共生」
- ●「ダイバーシティの推進」
- ●「ワーク・ライフ・バランスの実現」

環境課題を取り巻く外部環境の変化・新型コロナウイルスによる変化・当社のマテリアリティの視点で見直し

経営会議・取締役会で論議

2021 マテリアリティ2項目を追加、3項目を更新

- ●「脱炭素社会の実現」
- ●「サーキュラー・エコノミーの推進」
- ●「サプライチェーン全体のマネジメント」

マテリアリティマップの作成

- ●「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」
- ●「ワーク・ライフ・インテグレーションの実現」
- ●「お客様の健康・安全・安心なくらしの実現」
- ●「地域社会との共生」